

「人」と「人」が交わるフリーマガジン

KRPPRESS 7

2013
vol.131
JULY

特集：京都に開発拠点を持つ
イノベーションが生まれるまち京都で
研究・開発を推進



KRPP

アルケマ株式会社とシーサー株式会社の皆さま

イノベーションが生まれるまち京都で研究・開発を推進

大学の多さや都市の規模、歴史などの要素から、「イノベーションが生まれるまち」と言われる京都。本社は東京にありながら、京都に開発拠点を設け、KRP地区の様々な利点や特色を活かして新しいビジネスを行なう2社を紹介します。



アルケマ株式会社京都テクニカルセンター所長の宮保淳氏(右)。スペシャリティポリアミド本部コンシューマーアプリケーション開発グループマネージャーの下西祥幸氏(左)



「日本の京都」の多様な価値を活用して新しいビジネスを創出・発信

ARKEMA アルケマ株式会社 京都テクニカルセンター(3号館)

設立/1993年 事業内容/中間体と機能性樹脂・特殊化学品の輸入販売と研究開発、ニューアプリケーションや新製品の開発、アジア・太平洋地区でのテクニカルサービス

技術開発・販路開拓に欠かせない用途開発のための拠点

フランスの総合化学会社「アルケマ」がアジア戦略の重要な拠点として位置づける日本支社。京都テクニカルセンターは、その研究開発拠点として設けられた。プラスチック関連の製品を主に扱い、研究開発だけでなく技術的なサポートや新製品のプレゼンテーションにも注力している。

同社の製品は自動車や電気・電子部品、スポーツ用品、リチウムイオン電池や太陽電池などに使用される高機能なプラスチック材料。最近では自動車メーカーの燃料配管をはじめ、ミズノのランニングシューズやパナソニックのお米食パン機「GOPAN」などに使用されている。「材料という製品特性から、ある商品に用いられるその機能が高付加価値を生み出せるような用途開発が不可欠。とりわけ日本企業に対するプレゼンテーションは新たな用途を引き出すために有効で、京都はその重要な拠点です」と所長の宮保淳氏は語る。

アクセスの良さ、都市の魅力 京都拠点のメリットは多彩

フランスをはじめ海外企業からの来訪者も多いなか、国際空港から約1時間半という京都のアクセスの良さは、東京にはない大きな利点。同時に観光都市・京都

そのものの魅力も大きく「なぜか春と秋に来訪者が多い」と宮保氏はこっそり明かす。フランス企業としては、フランス総領事館が京都初の在外公館として市内に設けられ交流しやすくなったことも大きなメリット、また京都で働けることはリクルートでもプラス要素と、そのロケーションメリットを強調する。

KRP地区の利点もフル活用し新しいビジネスを京都から

同センターではKRP地区内に位置する京都市産業技術研究所の「蛍光X線分析装置」「プラズマ発光分光分析装置」といった高額な機械設備をリーズナブルに使えるサポートシステムを利用。地区内で開かれる国際会議やセミナーへの参加、サイエンスセンタークラブで会議やパーティを開催するなど、KRP地区のさまざまな機能を有効に活用し、事業の効率化や交流に役立てている。

今年、同社では中国に新たな研究開発拠点を開設。新しい価値を創造・発信し、技術という切り口でビジネスにつなげていく「京都テクニカルセンター」の存在意義がますますクリアになってきた。今後は中国の拠点と役割分担しながら、日本発、京都発の新たなビジネスを生みだし、アジア市場のさらなる成長を目指していく。

東京にはない自由度の高さが魅力 京都拠点のチームパワー

東京 ↔ 京都

Seesaa シーサー株式会社(6号館)

設立/2003年 事業内容/ログシステムの開発・運営・販売 スマートフォンアプリの企画・開発・販売 自社メディアの運営

アプリ開発にフォーカスした事業開発・人材育成の拠点

「Seesaaブログ」を中心としたインターネットサービスを運営するシーサー株式会社が、ブログ以外の事業の新たな開発拠点として1年前に設けた京都分室。拠点として候補に挙がった関西エリアのなかでも京都を選んだのは、学生が多く、人材発掘と育成に適しているからだという。当初、長村新氏が東京から1人で乗り込んだ京都分室では、現在、7人のエンジニアとディレクター、デザイナーの計9人がパソコンに向かう。平均年齢は20代後半。全員が豊富な開発経験を持つ機動力の高い精鋭チームが出来上がった。「それぞれのスキルもモチベーションも高く、東京でこれだけの人材を確保するのは難しかったと思う」と語る長村氏。最近では、UI変更をはじめ多くの改善、機能追加を実施した「イープラス」のアプリリニューアルなどを手がけた。

京都分室から広がるネットワーク

シーサー(株)が入居する6号館には、IT企業が多く集まっている。現在、同じく6号館に入居するイントフロード(株)、(株)シーズと合同で勉強会(Kyoto.LT)

を開催している。業務の内外での発見や疑問などについて会社の垣根を越えた情報交換ができ、知的好奇心が刺激される場だ。「東京でもセミナーや勉強会が多いですが、ご近所の会社と共同で開催するというケースはありませんでした。ふとした立ち話から勉強会が始まったり、一緒に飲みに行き知り合いを紹介してもらったりと利害関係のないつながりから、京都でのネットワークが広がってきています」と長村氏は京都分室からの広がり語る。

海外展開も視野に 精鋭チームで事業にのぞむ

京都分室は独立採算制。事業展開や営業戦略の自由度が高い代わりに、京都分室だけで実績を上げなければならない。「立ち上げ1年目のベンチャー企業のような気概で取り組んでいます。さらに人を増やして体制を強化していきたいですね」と長村氏。

今後は海外にも視野を広げ、アジア地域で新たなアプリ開発の拠点づくりを目指す。「京都分室をブリッジにし、京都と海外、そして京都と東京、と繋いでいきたい。早ければ来月にでも…」と精鋭チームならではの機動力でのぞむ。



京都分室を率いるモバイルソリューション事業部部長 長村新氏。



京都分室のメンバー一同。専門分野のスペシャリストが集まった。

●切磋琢磨しつつ情報収集するKRP地区ならではの勉強会 Kyoto.LT



IT企業3社(株式会社シーズ、イントフロード株式会社、シーサー株式会社)が1~2ヶ月に1回のペースで開催している勉強会。参加者から好きなテーマを募り希望者がLT形式で発表する。2013年4月からは、KRP活動サポート対象サークルとして、3社以外の参加者の受け入れも開始。より活動の幅を広げていく予定だ。

KRP(株)営業部 営業推進チームより

KRP地区は、さまざまな規模・業種の企業さま300社3000人が集まっており、新たな価値創造の場として入居企業の皆様からご評価いただいています。今回ご紹介したような、本社機能とは別に開発拠点としてKRP地区にオフィスを構える企業さまの受け入れ態勢を一層整え、京都発のビジネスが創られる場をご提供していきたいと考えています。



GDG Kyoto活動中! “Google I/O 2013”を盛り上げる 2イベントを開催

Google Developer Group 京都(2012年に京都GTUGから名称変更)は、Googleの技術に興味のある有志による開発者コミュニティ。本年4月にもNFC LABと共催でアイデアソンとハッカソンを開催するなど精力的に活動をしている。今回は、5月16日にサンフランシスコで開かれたGoogle最大の開発者向けのイベント“Google I/O”を中心に、最新技術の共有と開発者の交流を目的に2つのイベントを開催した。

町家でGoogle I/Oを観る会 2013

●日時:2013年5月15日(水)20:00~5月16日(木)8:00 ●会場:KRP町家スタジオ
●主催:GDG 京都 ●後援:京都リサーチパーク(株) ●協力:Google

米国発グーグル開発者のための大型イベントを西陣の町家で“まったり”リアルタイム観賞

この5月に米国サンフランシスコで開催された開発者のための大型イベント「Google I/O 2013」を、ライブで視聴するイベントがKRP町家スタジオで行われた。現地でのスタート時間は日本時間の深夜にあたるため、文字通りのオールナ

イト観賞。町家スタジオの量の広間に集まったIT開発者ら20人は、キーノートスピーチをはじめ次々に発表されるGoogleの最新技術情報を、ともに飲み、語り、時にごろ寝しながら夜を徹して“まったり”とナマで視聴した。



GDG DevFest Japan 2013 Google I/O 報告会(京都会場)

●日時:2013年5月25日(土)13:00~18:00(懇親会18:00~21:00) ●会場:KISTIC 2階会議室
●主催:GDG京都 ●協催:GDG神戸 ●後援:京都リサーチパーク(株) ●協力:Google

全国7会場をネットで結んでグーグルの最新技術情報を共有 京都会場には50人が参加、2人の開発エキスパートが発表

全国のGDGが主催するカンファレンス「DevFest Japan」の今年の催しとして「Google I/O 2013」の報告会が開かれた。GDGコミュニティに参加する全国の開発者が、東京・信州・名古屋・京都・中国・四国・九州の7会場に集結。各会場をGoogle+ハンガアウトオンエアで結んで、サンフランシスコの現地イベントに参加した開発者による講演を発信、最新テクノロジーをともに学ぶ催し。

冒頭、サプライズとして東京会場にGoogleのエンジニアリング・ディレクター クリス・ヤーガ氏が登場し、I/Oの裏話やリハーサルの様子などを紹介。続いて約6000人が参加し189ものセッションが開かれた現地会場の様子を伝えるレポートの後、講演がス

タート。「Android」「Chrome/HTML 5」「Cloud」「Social & Geo」の4つのセッションについて発表があり、質疑応答が行われた。

約50人が参加した京都会場では、グーグル・ディベロッパー・エキスパートの中村敦氏が自由度を向上させたGoogle Apps Scriptの新機能について、バイドウ株式会社のモバイルプロダクト事業部長・足立昌彦氏がAndroidのパフォーマンス向上のためのテクニックについて講演した。GDGコミュニティ特有の打ち解けた雰囲気の中、会場ごとに異なる空気感も楽しみつつ、アプリ開発やサイトの環境改善にたちまち役立つ最新テクノロジー情報を、全国の参加者がネットを介して共有した。

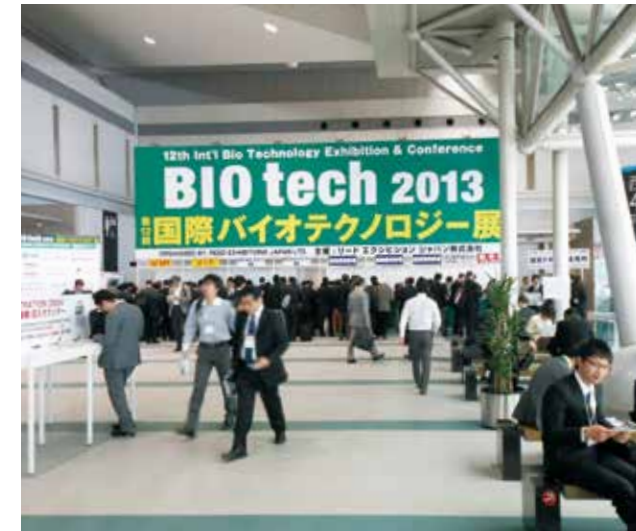


KRP(株)再生医療サポートプラットフォーム参画企業と共同出展

BIO tech 2013

第12回 国際バイオテクノロジー展 / 技術会議

国内最大規模の先端バイオ技術の展示会「BIO tech 2013」が、5月8日(水)から3日間にわたって東京ビッグサイトで開かれた。世界中のライフサイエンス研究機器メーカーをはじめバイオベンチャー、国や自治体の研究機関などから多彩なバイオ技術が集結するなか、KRP(株)開発企画部が取り組む「再生医療サポートプラットフォーム」の参加企業9社および(公財)京都高度技術研究所と共に共同出展した。出展企業のうちKRP地区にラボやオフィスを構える(株)KRI、(有)デコレに話を伺った。



株式会社 KRI



KRI独自技術で開発した細胞培養の足場材「ポリ乳酸スカフォールド」に 大学研究者やバイオ関連企業が好反応。新規事業の発展に期待

材料・エネルギー分野を中心に科学技術に関する受託研究を主な業務とする同社では、バイオ関連の新たなシーズを外部発表し、ニーズの提案と掘り起こしの場として、数年前から参加。今回は再生医療との関連から「ポリ乳酸スカフォールド」と「シリカ系超親水化材料」を出展した。細胞培養の足場材「ポリ乳酸スカフォールド」は、大学の依頼で開発した試作段階の製品。大学の

研究者らが関心を示し、東京や九州の企業から今後の取り引きにつながる好反応があった。従来品より親水性と耐久性を高めた「シリカ系超親水化材料」については「組織培養する際の処理剤として使ってみたい」などの声が聞かれた。会期中およそ30社がブースを訪れ、新機能性材料研究部長の佐藤正洋氏は「当初の目標は達成できた」と評価している。

有限会社 デコレ



改良を重ねた細胞培養容器用キャニスタ「プリシーマ」に 前年の3倍近い数の企業が注目。予想を超える結果が今後の弾みに

機械や装置の設計・意匠・製作を手がける同社では、3年前から医療・バイオ分野へ本格的に進出。昨年に続いて再生医療などでの細胞培養の際、雑菌の混入を予防、培養容器の個別管理などに役立つ細胞培養容器用キャニスタ「プリシーマ」を出展した。プロトタイプを初出展した前回は好ましい反応が得られず、実際に使用する研究者からの意見をもとに改良。生産性の向上やコストダウン・

軽量化に取り組み、さらに形態や気密性にも苦心して本格的な製品化にこぎつけた。今回、この7月に販売される直前の製品サンプルを展示したところ、昨年のおよそ3倍にあたる約60社が関心を示し、10数社からサンプルの申し込みを受けた。田中聡取締役社長は「医療・バイオ分野の主力製品として手ごたえが得られ、多くのアドバイスも頂いた」と、新たな製品開発にも弾みがついた様子。

●KRPブース KRP(株)の概要と、企業としての取り組みを再生医療・試作サポートチームの活動を中心に紹介。研究者のニーズとモノづくり企業とを橋渡しするユニークな活動について、サポートチームのスタッフが常駐してブース来訪者の質問などに対応しました。

再生医療サポートプラットフォームブース出展企業 / 機関 (五十音順)

企業:アトナブ(株) ミカサ商事(株) 荏原実業(株) (株)KRI (株)サンキ (株)積進 (有)デコレ (株)ニッピ (株)日本特殊管製作所 / (公財)京都高度技術研究所



ASEAN加盟国の特許庁長官らがKRP地区を訪問



●日時：2013年4月15日(月)13:20～15:30
 ●場所：KRP 1号館2階サイエンスセンタークラブ(ワーキングランチ) 4階ホワイエ(ポスターセッション)
 KISTIC 4階京都バイオ計測センター

4月15日、ASEAN(Association of South-East Asian Nations / 東南アジア諸国連合)への知財協力を強化するための「アセアン特許庁シンポジウム2013」が、国立京都国際会館で開催された。会合に参加した加盟10カ国の知的財産庁長官や特許関連部署の要人19人が、同日午後、深野弘行特許庁長官ら日本側関係者とともにKRP地区を訪問した。

KRP(株)森内社長による歓迎のスピーチの後、ワーキングランチでKRP地区の概要についてプレゼンテーションを行い、KRP(株)の知財マッチング事業や産学公の橋渡し機能、アジアにおけるビジネスサポートなど、特徴的な事業活動を中心に紹介。つづいて京都バイオ計測センターを訪問、参加者から熱心な質問が寄せられた。最後にKRP地区内の5つの公

的機関とKRP(株)の活動を紹介するポスターセッションが行われ、各機関の展示者と各国要人とで話し込む姿が見られるなど、短い時間ではあったが、日本での知財を活かしたビジネスの事例や取り組みを紹介する有意義な場となった。



特許庁長官 深野弘行氏(中央)と歓談する
 京都市産業技術研究所 所長 西本清一氏(左)
 ポスターセッション会場にて

*ポスターセッション参加機関
 京都府中小企業技術センター(公財)京都産業21
 (一社)京都発明協会/京都市産業技術研究所
 (公財)京都高度技術研究所



京都バイオ計測センター見学



ポスターセッション会場にて記念撮影

KRPeople

KRPeopleはKRPエリアを拠点に活躍するすべての人、その意外な素顔に迫ります。



東和薬品 株式会社 研究開発本部 医薬分析部
 GE科学評価チーム課長 **立木 秀尚氏** (KISTIC 2・3階)

京都市出身。大阪大学大学院理学研究科生物科学専攻博士課程修了(理学博士)。研究開発本部で14年間、ジェネリック医薬品の普及を目的とした研究開発や情報提供に努めている。

業界初の“魅せる研究所”を活用して ジェネリック医薬品による社会貢献を進めたい

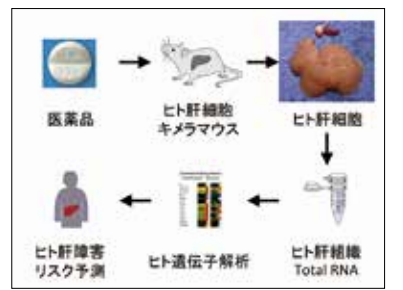
ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは、大まかに説明すると、効果や安全性が実証されてきた新薬(先発医薬品)と有効成分が同じで、効き目・品質・安全性が同等だと国に認められた医薬品のことです。新薬の医療現場での使用実績や情報をもとにして、効率よく開発するため、より低価格で提供できることが特徴です。東和薬品はジェネリック医薬品の製造・販売を事業とし、また、厚生労働省や文部科学省の科学研究費補助金の指定研究を始めとする学術研究にも力を入れています。今年4月、新たな研究開発拠点としてKRP地区内に開設した「京都分析科学センター」では、ジェネリック医薬品が新薬と同等に治療できることを保証する「生物学的同等性試験」と、医療関係者や患者さんがジェネリック医薬品をより便利に、安心して利用するための「学術追加試験」を二大業務として、ジェネリック医薬品の信頼性や普及率の向上に努めています。私が所属するGE科学評価チームは「学術追加試験」が主な業務です。例えば、苦い医薬品を嫌がる子供のため、ジュースやヨーグルトと一緒に服用して苦みを感じなくする方法を検討し、同時に、それらと混ぜても医薬品の品質が劣化しないことを科学的な手法で確認して、安心して服用するための実験データを取得しています。スタッフ

数人とともに夜遅くまで実験研究に携わる毎日です。帰宅が遅く、出張も多いので、子どもと遊べるのは朝の出社前ぐらいです。時間を作って、大学のサークルで楽しんだ「化石掘り」を再開したいですね。地質・古生物・天文などの「地学系」が好きで、「山で化石を掘り、星を眺めて酒を飲む…」といったことがしたいです。大学院時代は「がん抑制に関する遺伝子」が研究テーマの一つで、学んだ知識や技術を、将来は医療業界で役立てたいと思っていました。ジェネリック医薬品を知ったのは就職活動中、東和薬品を調べていた時です。この医薬品は、将来きっと社会にとって極めて重要になると直感し、「ジェネリック医薬品の業界で、科学技術を用いて社会貢献しよう」という思いで入社しました。

ジェネリック医薬品の役割は、国民医療費の抑制だけではありません。例えば、高額な抗がん剤による治療が続けられず、患者さんやご家族が苦しむようなケースは、より低価格なジェネリック医薬品の使用で少しでも減らすことができるでしょう。患者さんの経済的負担軽減や、医療の機会均等のためにも、低価格なジェネリック医薬品の重要度は、今後ますます高まると思います。当センターでは「見学者用通路」を設けて高度な研究設備や実験環境を医療関係者などに公開し、ジェネリック医薬品がより広く使われるよう、信頼性向上や情報発信に努めています。また、今後は、KRP地区の関連企業や異業種との交流、産学公の連携機能などを活用して新たな研究に挑み、社会に貢献したいと思っています。

PickUp!

医薬品を人に投与せずに、治療時のヒト肝障害リスクを予測できる新しい評価法「IT-LEX™法」を、大学や他企業と共同開発しました。最新科学技術であるヒト肝細胞キメラマウスと遺伝子解析の手法を用いています。これまでに、国内外の学会発表を重ねており、今後はジェネリック医薬品の安全使用のために活用していきます。



KRP成長企業支援部 イベントレポート

5/10 第31回 セーフティプラスOff会@タトラー 交流スペース「タトラー」にて機械安全設計に関する勉強会を開催!

2号館に入居のセーフティプラス株式会社の平沼社長が主催されている機械安全設計に関する月例勉強会が【開閉器の接触と接続の信頼性】をテーマとし、新たにオープンした交流スペース「タトラー」にて開催され、全国の大学や企業で活動される専門家の方々が参加された。



6/6 KRP町家スタジオにて終日開放日 「町家オープンデイ」がスタート! 人が交わり、新しいビジネスやプロジェクトの創出を目指す。



町家オープンデイは略して「MOD」。週に一度、町家スタジオが終日開放される企画がはじまった。大学生やデザイナー、プログラマーなどのワークプレイスとしての利用をメインに、人が集まることでお互いの活動や仕事をキーワードに交流が生まれている。
 時間：10時～17時 参加費：無料

6/1 超交流会2013「みんなのカミングアウト」



全国各地から起業家や経営者が集まる京大情報学同窓会「超交流会」が京都大学にて開催された。昨年に引き続き、ブース出展にてKRP(株)やKRP町家スタジオの活動を紹介した。ブースには起業を目指した学生や若者も多く訪れ、熱心にメモを取る様子も見られた。

7/31 第29回五条七本松落語会 開催決定 笑いで暑さを吹き飛ばそう!



KRP-WEEK期間中の7月31日(水)18:30から、KRP4号館にて「五条七本松落語会」が開催される。前回は、大入り満員で大盛況となった落語会。浴衣で来場の方にはうれしいお土産がもらえるそうだ。出演は、林家染弥、桂米紫、笑福亭呂好。暑さを忘れて楽しい夜をどうぞ。

詳しい内容は
 WEBでチェック!



- KRP成長企業支援部ブログ <http://www.krp.co.jp/sks/vio/newsblog>
- 町家日記 <http://blg.krp-machiya.co.jp>

Newcomer

KISTIC 2・3階



ジェネリック医薬品の製造・販売
 京都分析科学センターでは、以下の様な業務を行っています。
 ・医薬品申請に向けた薬物動態評価
 ・市販製品の品質評価
 ・市販製品の有効性や安全性評価
 ・医薬品開発や評価に関する基礎および応用技術の研究

東和薬品株式会社 京都分析科学センター
 吉田 逸郎 代表取締役社長

- TEL / 075-325-1208
- FAX / 075-325-1209
- URL / <http://www.towayakuhin.co.jp/>

新しい入居企業様の紹介

KRP-WEEK 2013

7.26^F ▶ 8.3^S 会場：京都リサーチパーク内各施設

- 主催／京都リサーチパーク(株)
- 後援／近畿経済産業局、京都府、京都市、京都商工会議所
(※各イベントにより主催等が異なります。)
- 問い合わせ／KRP-WEEK事務局 TEL: 075-315-8342
E-mail: krp-week@krp.co.jp

今年も真夏の1週間、 KRP-WEEK2013を開催します。

セミナー、展示会、エンターテインメント……イベントが盛り沢山。ぜひこの期間に、イノベーションのヒントを見つけにお越しください。



8/1 Thu ビジネスミーティング・ アジア2013 in Kyoto

2013年8月1日(木)
会場／1号館 4階会議室

アジア各国のベンチャー企業約20社と情報交流や商談が行なえる国際商談会を開催。成長を続けるアジア各国への事業展開について、生の情報が収集できるチャンスです。午後の商談会は事前申し込み制です。※アジアサイエンスパーク協会(ASPA)との合同イベントです。



8/2 Fri KRP-WEEK特別講演 「ミドリムシが地球を救う」で イノベーションを起こせ!

2013年8月2日(金)
13:30~15:00
会場／4号館 地下1階
バズホール

食料やエネルギーの問題を解決できる小さなミドリムシの大きな可能性を信じ続け、世界初の大量培養に成功した「(株)ユグレナ」代表取締役社長出雲充氏によるベンチャーストーリーをお届けします。



8/2 Fri テナントさま交流・ PR展示会

2013年8月2日(金) 10:00~17:00
会場／アトリウム



KRP地区で活動する企業・団体による展示会。今年はオープンソースの最新情報を発信する展示・セミナーイベント、「オープンソースカンファレンス2013 Kansai@Kyoto」と併催です。

そのほかのイベントは、KRP-WEEKのホームページでチェック! <http://www.krp.co.jp/krpweek/>



KRPサークル紹介

KRP「東ねる」サークル活動サポートに将棋や勉強会などの 3サークルが新たに認定されました。

Kyoto.LT

Webアプリケーションおよびスマートフォン関連技術の共有などを目的とした勉強会です。活動は1~2ヶ月に1回程度です。基本的にはライトニングトーク(LT)形式の勉強会です。外部講師を招き、ハンズオンやハッカソンも予定しています。



●お問い合わせ先
イントフロント(株) 田中 伸弥
Mail: kyotolightingtalks@gmail.com

KRP 将棋サークル

仕事帰りにちょっと将棋を指したり、詰将棋を解いてみようという方、お気軽に遊びに来てください。将棋対局、詰将棋鑑賞などを月に1回程度開催予定です。



●お問い合わせ先
(株)KRI 逸見 尚史
Mail: tokin721-krpshogi@yahoo.co.jp

KRP さろんdesおしゃれな未来

参加者のみなさま、時には専門家の意見を聞きながら「心遣いと工夫の結集」を育てていきたいと考えています。発表しあったり、相談しあうことで沢山の価値あるものができあがると考えています。ぜひご参加ください。

●お問い合わせ先
(株)アール・エム・アイ 田邊 朋子
TEL: 075-874-6030
Mail: tanabe@rmicon.co.jp

菜園サークル、英語、写真、書道、ゴルフ、テニスなど10サークルが活動中です。異業種交流や気分転換の場として参加してみませんか?

<http://www.krp.co.jp/tabane/circle/index.php>

編集後記 いよいよ今月にはKRP-WEEKが開催されます。今年で開催3年目を迎え、毎年恒例の「七夕祭り」、特別講演(東京大学発ベンチャーの出雲充氏/株式会社ユグレナ代表取締役社長)をはじめ、入居企業の皆さまにもご協賛いただき、各種イベント、セミナーなど、盛りだくさんの内容となっております。是非ともこの機会にKRPをご体感ください。

配送・停止・変更のご希望は、
右記内容を明記の上 krppress@krp.co.jpへ

配送 ① 〒、住所 ② 団体名 ③ 部署名 ④ お名前 ⑤ TEL/FAX ⑥ メールアドレス ⑦ 「配送希望」 ※定期配送も可能です
停止 ⑧ ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) ⑨ 「配送停止希望」
変更 ①~⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No.

vol.131
July
2013

KRPRESS www.krp.co.jp

○編集・発行／京都リサーチパーク株式会社 〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町134番地 (ASTEM棟4階)
TEL: (075) 315-8342 FAX: (075) 322-5348
○編集長／鈴木 和哉 ○取材・編集・デザイン・制作・印刷・配送管理／株式会社情通レゾナンス

KRP News Mail 配信中

メルマガをリニューアルしました!
<http://www.krp.co.jp/pub/maga.html>